

## (4) 地方公共団体へのヒアリング(その3)

### 時代とともに変化する他団体との協力連携方法

/ 横須賀市 都市部景観推進課

#### ヒアリング結果のポイント

平成2年に「横須賀市都市景観整備基本計画」を策定、平成12年からは「色彩についての要綱」を運用している。

平成16年に「横須賀市景観条例」を制定、平成18年に「横須賀市景観計画」を制定した。神奈川県内の地方公共団体や協議会などと様々な活動を行っている。

情報収集方法は、インターネット環境が整備される以前は「地方公共団体条例集」「文書での資料提供依頼」「電話ヒアリング」などであったが、現在では主にインターネットを活用している。

他の地方公共団体の景観づくりの取り組み実績を参考に、インセンティブ制度などを検討した。

#### 【景観行政の取り組み】

#### 景観行政の取り組みについて

平成2年に「横須賀市都市景観整備基本計画」を策定した。

平成12年から「色彩についての要綱」を運用し、市民の景観に対する意識が芽生えてきたため、平成16年に「横須賀市景観条例」を制定した。

平成18年に「横須賀市景観計画」を制定した。

「横須賀市景観計画」 中央公園眺望景観保全区域図



## 【情報の取得に関する現状、課題】

### 情報取得の方法について

景観条例や要綱などの策定当時は、「他の地方公共団体の条例集」「文書での資料提供の依頼」「電話でのヒアリング」などで情報を取得した。現在はインターネットでの情報取得や他の地方公共団体への視察等も行っている。

他の地方公共団体の景観づくりの取り組み実績を参考に、インセンティブ制度などを検討している。

## 【他団体との活動に関する現状、課題】

### 他の地方公共団体との活動

神奈川県内の地方公共団体と様々な活動を行っている。

神奈川県では電子会議室を実験的に立ち上げている。また、県主催の勉強会、県内景観行政団体会議などを開催している。

#### 【具体的な活動例】

よこすか都市景観協議会が主催する市制100周年記念フォーラムで東京湾岸の市長、や副市長が集まった「かながわ東京湾景観会議」を開催した。

横浜市へ職員が出向

数年前は、横浜市、鎌倉市、横須賀市の連絡会議を行っていた。

